

## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b>	一般国道11号 <small>おおちしろとり</small> 大内白鳥バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 四国地方整備局
<b>起終点</b>	自：香川県東かがわ市伊座 至：香川県東かがわ市小砂	<b>延長</b>	9.2km		
<b>事業概要</b>	一般国道11号大内白鳥バイパスは、東かがわ市内の国道11号で発生している慢性的な交通渋滞や、それに伴う交通事故多発区間の解消、さらに交通流の円滑化による都市及び病院等の公共施設のアクセス性の向上などにより、地域の文化・経済・産業の発展に資することを目的としている。				
H12年度事業化	H16年度都市計画決定	H18年度用地着手	H20年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	約281億円	<b>事業進捗率</b>	約36%	<b>供用済延長</b>	0.0km
<b>計画交通量</b>	4,100～21,700台/日 [現況+事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの]				
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.3 (残事業) 2.4	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 141/260億円 事業費：119/238億円 維持管理費：22/22億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 342/342億円 走行時間短縮便益：292/292億円 走行経費減少便益：42/42億円 交通事故減少便益：7.6/7.6億円	<b>基準年</b> 平成24年	
<b>感度分析の結果</b>	(事業全体) 交通量 : B/C=1.2~1.4 (交通量 ±10%)      (残事業) 交通量 : B/C=2.2~2.7 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.4 (事業費 ±10%)                  事業費 : B/C=2.2~2.6 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.1~1.5 (事業期間 ±20%)              事業期間 : B/C=2.0~2.9 (事業期間 ±20%)				
<b>事業の効果等</b>	①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度が改善される ・現道等の路線バスの定時性向上や所要時間短縮が見込まれる ・JR三本松駅までのアクセス向上が見込まれる ・高松空港、徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる ②国土・地域ネットワークの構築 ・東かがわ市（香川東部地方生活圏）から高松市（香川東部地方生活圏）間のアクセス向上が見込まれる ③個性ある地域の形成 ・地域連携プロジェクトである就職支援事業や定住促進事業を支援する ・徳島、香川の主要観光地（鳴門の渦潮、讃州井筒屋敷、栗林公園等）へのアクセス向上が期待される ④安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上、二次医療施設への所要時間短縮が見込まれる ⑤安全な生活環境の確保 ・現道の交通量減少による安全性の向上が期待される ・歩道が設置されることによる安全性の向上が期待される ⑥災害への備え ・香川県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけされている ・高松自動車道や国道11号現道が通行止めとなった場合の代替路を形成 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる ⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる ・SPM排出量の削減が見込まれる ・騒音環境基準を超過する区間の騒音低減73dB→65dB（昼間騒音）が期待される ⑨その他 ・さぬき東街道（主要地方道高松長尾大内線）バイパスとの一体的に整備する必要がある				

<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流効率化の支援が見込まれる</li> </ul>	
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域から頂いた主な意見等： <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺自治体などから、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。</li> </ul> 県知事の意見： <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続について、異議ありません。</li> </ul>	
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。	
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ①周辺道路の整備状況 (高速道路)・平成13年3月 板野IC-津田東IC、三木町・高松市境-高松中央IC開通 同時に国道11号高松東道路のさぬき三木IC-三木町・高松市境間が開通 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年7月 鳴門IC-板野IC開通により神戸淡路鳴門自動車道と接続</li> <li>・平成15年3月 高松中央IC-高松西IC開通により全線開通。同時に高松東IC開通</li> </ul>	
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東かがわ市白鳥から東かがわ市西村 (3.3km) の用地取得は98%、東かがわ市西村から東かがわ市土居 (2.6km) の用地取得は65%、事業全体の進捗率は約36%となっている (平成23年度末)</li> </ul>	
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大内白鳥バイパスの2工区・3工区で用地買収に着手、2工区では用地取得率が98%であり、早期の供用を目指し事業を推進している。</li> <li>・2工区は平成26年度の暫定供用を目指し、事業を推進している。</li> </ul>	
<b>施設の構造や工法の変更等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤改良対策の追加、トンネル掘削工法の変更や補助工法の追加、埋蔵文化財調査の追加により、事業費が増加。</li> <li>・擁壁や管渠等のコンクリート構造物はプレキャスト製品を採用することにより、工事期間の短縮等によるコスト縮減を図っていく。</li> <li>・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。</li> </ul>	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の事業効果等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
<b>事業概要図</b> 	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。